

保育実習Ⅲ ルーブリック

到達目標		評価（配点）				
		S	A	B	C	D
1	児童福祉施設等（保育所以外）の役割や機能について実践を通して、理解を深める。（F）	実習指導職員の見守りや示唆により十分に理解し、要点をまとめて具体的に記録し深く考察している。	実習指導職員の見守りや示唆により理解し、要点をまとめて記録し考察している。	実習指導職員の具体的な助言・指導により理解し、記録と考察をしている。	実習指導職員の具体的な助言・指導により、理解にあいまいな点があるものの記録を作成できる。	実習指導職員の具体的な助言・指導があっても、記録を作成できない。
2	家庭と地域の生活実態にふれて、児童家庭福祉及び社会的養護に対する理解をもとに、保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力を養う。（D）	実習指導職員の見守りや示唆により十分に理解し、要点をまとめて具体的に記録し深く考察している。	実習指導職員の見守りや示唆により十分に理解している。	実習指導職員の具体的な助言・指導により理解している。	実習指導職員の具体的な助言・指導により、理解にあいまいな点があるものの記録を作成できる。	実習指導職員の具体的な助言・指導があっても、記録を作成できない。
3	保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解する。（D）	実習指導職員の見守りや示唆により十分に理解し、要点をまとめて具体的に記録し深く考察している。	実習指導職員の見守りや示唆により十分に理解している。	実習指導職員の具体的な助言・指導により理解している。	実習指導職員の具体的な助言・指導により、理解にあいまいな点があるものの記録を作成できる。	実習指導職員の具体的な助言・指導があっても、記録を作成できない。
4	保育士としての自己の課題を明確化する（D）	実習体験と自己洞察を通して深く考察することで具体的に自己の課題を明らかにでき、日々の記録に適切に反映し振り返りも深めている	実習体験と自己洞察を通して考察することで具体的に自己の課題を明らかにでき、日々の記録に反映し振り返りもされている	実習体験を通して考察することで自己の課題を明らかにでき、日々の記録に反映している	実習指導職員の具体的な助言・指導により、自己の課題理解にあいまいな点があるものの記録を作成できる。	実習指導職員の具体的な助言・指導があっても、記録を作成できない。